

【基本理念】

和 ～輝く個が美しく調和する未来へ～



輝く個が美しく調和する未来へ——

【基本方針】

1. 個（ひと・組織・まち）に新たな価値を纏わせる
2. 自律と共助の精神でひとと想いをつなげる
3. 責任と自覚をもって未来を創る

はじめに

日本では古来より「和を以て貴しと為す」という精神が受け継がれてきました。この「和」の精神性は、相手を恕すという日本固有の道徳観であり、ひととひとを、想いと想いをつなぐことを大切にしてきました。

「和」の精神性とは、決して、単純に争いの起きない状態にすること、事なかれ主義を目指すことではありません。それぞれがこれまでの経験を生かし、ときには想いと想いをぶつけ合い、全員が納得できる物事の本質を導き出すことです。その本質を導き出し、共にあるべき姿を思い描くからこそ、一つの目標に向かって助け合い、支え合いながら進むことがで

きるのです。

この広島というまち、人々の生活を考えたデルタの干拓、たった一発で全てが奪われた被爆からの復興や発展、そして、度重なる水害からの復旧活動など、人々がまちの未来を共に描き、助け合ってきた歴史を有します。今では、先人たちの郷土への想いと「和」の精神性により、120万人を有する自然と都市機能が美しく調和したまちへと発展しました。

私たちには、先人たちがこの広島を形作ったように、戦後の復興を支えたように、相手のことを思い、支え合い、受け入れる「和」の精神性が受け継がれています。私たちは、思いを通わせ、目的を共有したとき、本能的に己を律し、共助の精神性が働くはずなのです。

現在、時代の移り変わりとともに、私たちを取り巻く環境や、抱える問題は大きく変化し、複雑に絡み合っています。様々な技術革新により、あらゆるモノや情報が即座に手に入る世の中になりましたが、先行きが見えず、平和を脅かす問題が山積しているのは今も同じです。だからこそ、私たち広島青年会議所は、変革の能動者としての使命を果たし、若い力をもって、この広島の未来を切り拓いていくのです。

あらゆる分野においての活動の原動力は「ひと」にあります。人生100年時代と呼ばれるほどになった現在、広島青年会議所には、その100年後の人々を守る未来に向けた持続可能な運動を起こしていく力があります。私たち会員一人ひとりが、未来を創り上げていく責任と自覚をもち、「和」の精神性で溢れる真の平和な未来へとつながる一年にしていきましょう。

会員一人ひとりが未来に対する責任と自覚をもつ

1100年ごろのある僧侶の言葉でこんな言葉が遺されています。

“私は世界を変えたいと思っていた”

若いころ 私は世界を変えたいと思っていた。

世界を変えることが難しいと分かり、自分の国を変えようと思った。

自分の国を変えることが難しいと分かり、私の街を変えようとした。

街を変えることが難しいと分かり、自分の家族を変えようとした。

年を取った今、私ができるのは、自分自身だけであると分かった。

もっと前に自分自身を変えていれば、私の家族に影響を与えることができた。

そして、私と私の家族は、私の街に影響を与えることができた。

その影響は国を変え、本当に世界を変えることができたのかもしれない。

私たちは、変革の能動者として、修練・奉仕・友情の J C 三信条を基本に、明るい豊かな社会の実現に向けて活動をしています。自分以外のひとやまちに何らかの変化を与えるには、まず、自分自身が変わることが必要なのです。

青年会議所には、相互成長機関として、至るところに意識変革を図る機会が溢れています。この機会というのは、偶発的に手に入る「Chance」ではなく、自らが掴みに行く「Opportunity」であり、自らがその機会を掴みに行けば、必ず成長があるのが青年会議所です。青年会議所で得られる「ビジネスの機会」「個人の機会」「地域社会の機会」「国際性の機会」の4つの機会を逃すことなく活動すれば、その成長は周りの人々に影響を与え、家族を変え、会社を変え、やがては、まちの未来を変える力となるはずです。

私たちは、毎年変わる役職の中で、この広島のマチに寄り添い、リーダーシップとフォロワーシップを発揮し、日々活動しています。リーダーや、フォロワーというのは、誰かがリーダーを演じて、他の人がフォロワーを演じれば良いということではありません。どんな役職の人でも、ある側面ではリーダーであり、フォロワーでもあるのです。互いに尊重し合い、自律と共助という「和」の精神性をもって活動することができれば、それは単なるグループではなく、共通の目的をもつ一つのチームとなるのです。そして、チームの一人ひとりがこの青年会議所で互いに個々の力を高め合えば、さらに大きな力を生み出すチームとなるでしょう。

私たち一人ひとりが未来を変えることができるチームの一員としての責任と自覚をもち、あらゆる機会に挑戦していきましょう。そして、会員が相互に成長を図る組織になれば、この広島青年会議所は必ずまちから信頼のされる魅力に溢れた組織へと変貌を遂げるはずです。

魅力に溢れ自信に漲る強固で信頼ある組織へ

この一般社団法人広島青年会議所が創立されたのは、戦後の爪痕が残る1950年9月16日、まだ連合軍の占領下にあったときでした。「郷土と商工業の復興発展は我々の手によって成し遂げる」と誓い、立ち上がった24名の若き青年によって、前身となる広島商工青年協議会として発足されました。戦後様々なものを失い、自分たちの進むべき道もわからぬ混沌とした社会の中、この広島の「今」という未来を思い描き、切り拓いてこられました。

創立以来の70年という歴史は、人々を取り巻く環境が大きく変化する中、その変化に柔軟に対応し、まちやひとの抱える諸問題に適切な課題を打ち立て、正面からその課題に挑戦し続けてきた歴史でもあります。そして、40歳までという若き力によって展開してきた数々の運動は私たちの誇りとなり、規律と伝統からなる強固な組織力と実行力を伴ったまちや市民からの厚い信頼がある組織になりました。

もはや戦後ではないと言われ、豊かになったかのように見える現代でも、この広島の問題は多様に変化し、複雑に絡み合っています。そして、行政や私たち青年会議所だけでなく、より良い世の中の構築を目指して、公のために尽力する団体が数多く存在しています。私たち青年会議所は「和」の精神性をもって各諸団体と連携を図り、これからも、変化し続ける時代に挑戦していかなければなりません。

そのために、若き力を保ち時代に即した運動を展開していくこと、より多くの賛同者を得て連携を図ること、会員一人ひとりがこの会を代表するスポークスパーソンとしての意識をもつこと、掲げる未来像のために恐れず変化していくことなど、一つひとつを積み重ねていく必要があります。

私たちは活動をしていく上で、会社や家族、特別会員の皆様など様々な方に支えられています。私たちが明るい豊かな社会の実現に向けてまちのため、ひとのために活動をするということは、その会社や家族、様々な大切な人を守るためであり、それが自分のためにもつながるのです。

2020年度は創立から70周年という節目を迎え、これまでの歴史を創り上げていただいた先人たちへの感謝と、少し遠い未来を思い描く機会となります。この素晴らしい機会に、時代とともに変わってしまったこと、変えなければならないこと、決して変えてはならないことなど、「和」の精神性で広島青年会議所のあるべき姿を追求していきましょう。そして、多くの支えを自信に変え、プレゼンスと価値を高めていくことで、各諸団体やあらゆる市民と共に協働する社会を目指す魅力ある組織へと進化していきましょう。

あらゆる市民が夢に向かって挑戦できる真の平和な未来へ

この広島という地は、厳島神社、原爆ドームという2つの世界遺産に加え、恒久的な世界平和を想う地として、国内だけに留まらず、世界各地から人々が訪れるまちとなりました。現在では、観光客だけではなく、少子高齢化に伴う労働力の確保や外資系企業の参入等により、多くの外国人がこの広島に住んでおり、今後ますます増加していくことが予想されます。

このような中、広島が抱える様々な課題と向き合っていくためには、同じ社会を構成する者同士が当事者意識をもち、協力し合っていかなければなりません。日本人、外国人というくくりや、若年者、高齢者というくくり、健常者、障害者というくくりで分かれていては問題を解決していくことができないのは明白です。

しかし、様々な人種、思想、個性をもつ人々が集うこの広島は、それぞれが考える「明るい豊かな社会」「平和な世の中」にも違いがあるはずです。そのどれもが間違いではなく、それぞれが理想とする未来を思い描き、誰もが選択し、挑戦できる社会を構築していく必要があります。

未来を描いていくためには、まず、何をゴールとして定めるのが重要になります。広島青年会議所では、2015年度に策定した「HIROSHIMA JC VISION 2020」で掲げたSUPER CITY HIROSHIMAの先導者となることを目指しています。そして、世界では、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）により、国連加盟国を中心に、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて様々な取り組みが行われています。これらの取り組みのように、まずゴールを定め、それに向かって何をしないといけないか、具体的な手法を導き出し、実行に移していく必要があります。

そして、これまでの歴史を分析し、時代がどのように変化しているのかを見定めないとできません。単純に改元されたから、というわけではなく、仕事や暮らし、私たちを取り巻く環境がどのように変わってきたのかを読み取らなければなりません。

変化とは、全てが良いことばかりではありません。これまでの時代で当たり前と考えられていた思想や価値観にも当然変化が起こります。IT化やグローバル化による影響だけでなく、少子高齢化、核家族化、地域コミュニティの希薄化など、様々な問題が複雑に絡まり合い、社会のあり方、ひとが生き抜いていくために必要な力など、多くのことが変化していくことでしょう。

しかし、問題が複雑に絡み合うように、解決に導いていく方法も一つではありません。身近なたった一つの行動が様々な問題解決への起点となり、未来を動かす力になるのです。私たちには、子供たちの未来を守っていく責任があります。だからこそ、私たち青年会議所は、「和」の精神性をもって、熱い議論を交わし、市民を先導していくのです。

この広島というまちの現状を知り、あらゆる市民が、それぞれの理想とするゴールを選択

し、挑戦し、活躍できる真の平和な世の中を目指して、相互に連携し、能動的にまちづくりに参画していくことができる持続可能な社会を構築していきましょう。

おわりに

人は「虹」を見つけたとき、少し幸せな気持ちになれる。

何の変哲もないただの水滴の集合体でありながら、そこに光が射しこんだとき、そのひとつひとつが光を纏い輝きだす。全ての色を含みながら美しく調和したその姿は、この世界で唯一無二の存在となり、人々に希望や幸運の象徴となる。

近づき過ぎると何も見えず、光の射す先を見定めないとその姿は見えない。太陽の光も降り注いだ雨も全てが尊く、奇跡を起こす糧となる。時間が経つと薄れ、やがて消えていく光の帯は、一筋の光によって何度でも甦り、あらゆる人々の心を動かす無限の可能性を秘めた未来へとつながる懸け橋となる。

100年後の少し遠い未来を想像してみてください。

広島に住むあらゆる市民が相互に助け合い、まちのことに真剣に向き合っていますか？
あらゆる人々が自分の夢を選択し、それに向かって挑戦し、活躍できていますか？
たくさんの子供たちが笑顔に溢れ、心穏やかに過ごせていますか？

私たち広島青年会議所には、未来を創る力があります。これまでの歴史に感謝し、日本人が大切にしてきた「和」の精神性で、未来へとつながる新たな歴史を共に刻んでいきましょう。

輝く個が美しく調和する未来へー